本日のポイント！　治療やアセスメントの前に「CSC」

Command & Control：**指揮系統**確立と**調整**

Safety：**安全確保**

自分と現場の安全を確保した後に、**傷病者**に対応

Communication：**情報伝達**

どんな情報を、どこから、どのように集めるか

Assessment：**迅速評価**

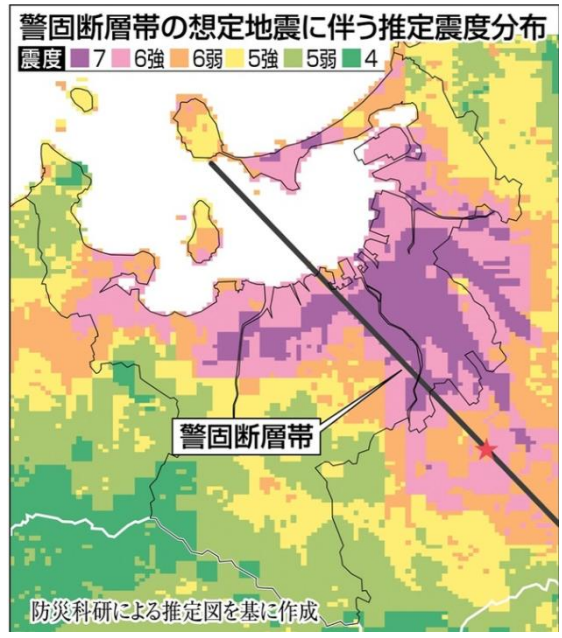
集めた情報を、いかに評価して、戦略を立てるか

（**T**riage：トリアージ）

（**T**reatment：治療）

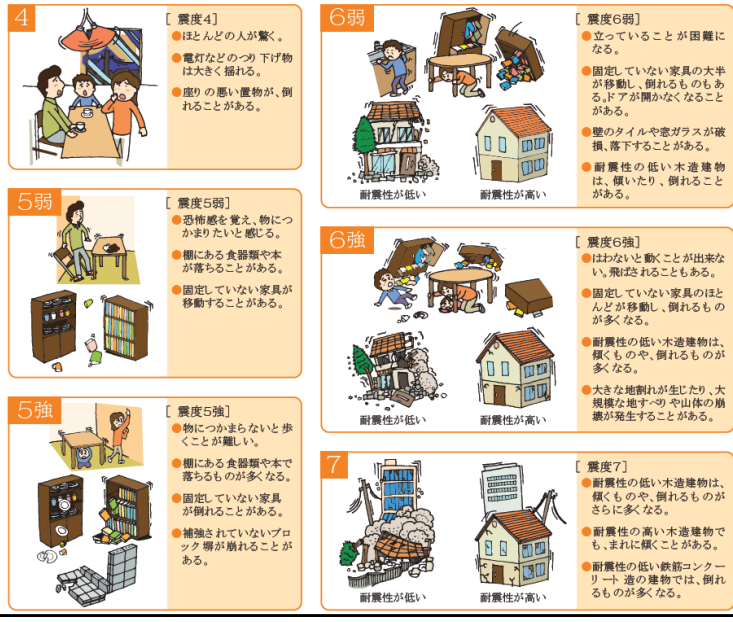
（**T**ransportation：搬送）

「CSCATTT」



引用：「改訂版福岡県防災ハンドブック」

クリニックの「立地・物件」と「震度」から、被害想定を



引用：防災の手引き　福岡市：平成27年4月発行

「平時から」自院のリスクを知っておこう

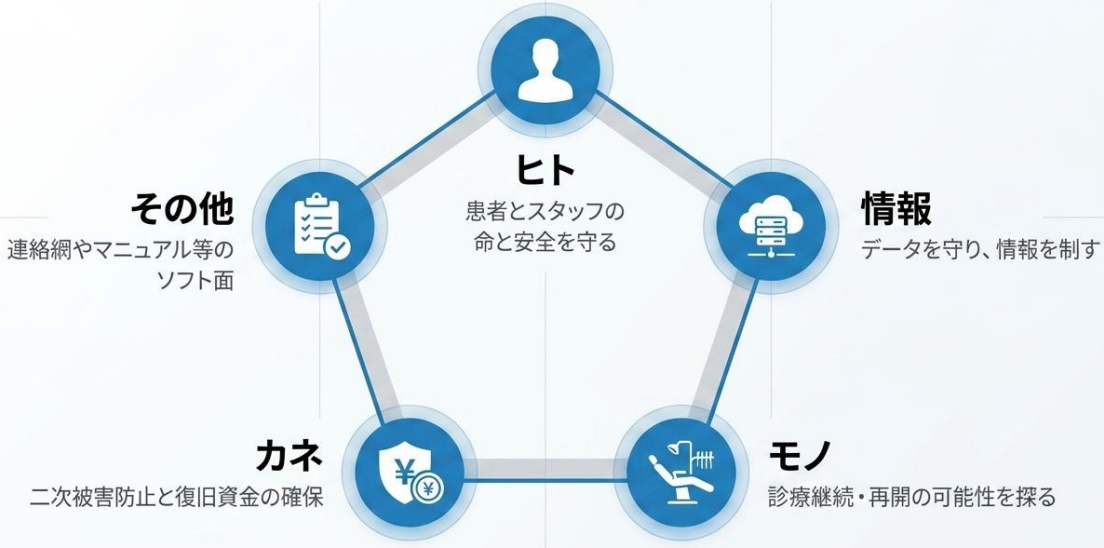
「歯科衛生士が知っておくべき、命と診療を守るための第一歩」

「歯科医院の災害対策とBCP」

NotebookLM

自院のリスクを「スコア化」して診断してみよう

災害リスクを分解する5つの指標（災害リスクスコア）



NotebookLM

1. ヒト的リスク（命と安全を守る）

患者層と要配慮者

患者層と要配慮者	4点	成人中心
	2点	小児が3割以上
	0点	高齢者が3割以上
患者の交通手段	4点	徒歩・自転車
	2点	車・バス
	0点	電車・遠方

スタッフの備蓄

4点	人数分×3日分以上ある
2点	一部不足
0点	全く備蓄なし

災害時の「直接死」や「孤立」を防ぐため、帰宅困難者への対策とスムーズな避難誘導の体制が不可欠です。

NotebookLM

2. 情報的リスク（データを守り、情報を制す）

カルテ・レセプト保護

院内のみ（2点）/ なし（0点）

外部（クラウド）バックアップ（4点）

通信手段

- モバイルネット環境あり（4点）
- 固定回線のみ（2点）
- 電話・FAX中心（0点）

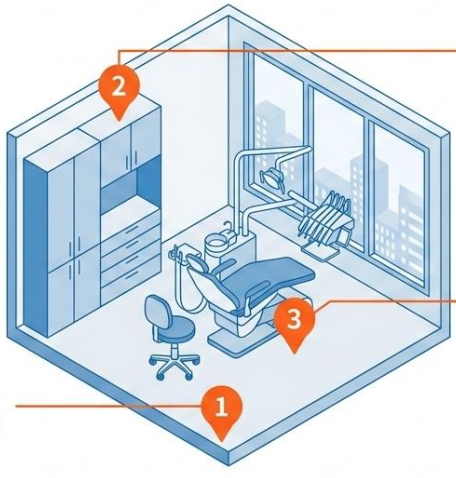
情報収集と警告

- 緊急地震速報：診療中も受信可能（4点）/ 未対応（0点）
- ラジオ：電池と共に整備（4点）/ なし（0点）

CSCA（指揮・安全・通信・評価）の確保において、通信とデータの喪失はクリニックの致命傷になります。

NotebookLM

3. モノ的リスク（診療継続・再開の可能性）



2 収納棚の固定

- 全部固定している（4点）
- 一部固定（2点）
- 固定していない（0点）

3 ユニットの固定

- 全部固定している（4点）
- 一部固定（2点）
- 固定していない（0点）

1 建物の種別・階数・立地

- 鉄筋1階・ハザード該当なし（4点）
- テナント2～4階・河川崖あり（2点）
- 木造5階以上・活断層（0点）

物理的な被害を防ぐことが、診療をいかに早く再開できるかの直結要因となります。

NotebookLM

4 & 5. カネ・その他のリスク（二次被害防止と復旧資金）

カネ的リスク

保険
火災・地震保険の両方加入（4点）
片方のみ（2点）
未加入（0点）

貴重品・運転資金
いつでも持ち出せる（4点）
把握しているのみ（2点）
把握していない（0点）

その他のリスク

マニュアル・訓練
あり・訓練済み（4点）
あり・訓練なし（2点）
なし（0点）

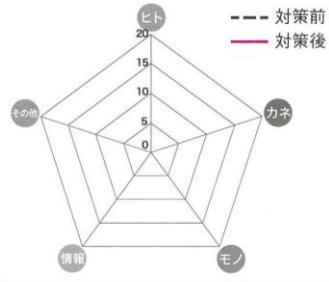
連絡網
SNS・メール活用（4点）
携帯番号のみ（2点）
固定・連絡網なし（0点）

電源管理（通電火災防止）
不要時はコンセントを抜く（4点）
時々抜く（2点）
つけっぱなし（0点）

NotebookLM

年　月　日実施

	対策前	対策後
ヒト		
情報		
モノ		
カネ		
その他		
総合評価		



今回の改善ポイントメモ：

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

改善

1.ヒト的リスク

リスクを把握しよう！あなたの歯科医院は何点？ 何タイプ？

患者層	成人中心または偏りなし	4
	小児が３割以上	2
	高齢者が３割以上	0
患者の主な交通手段	徒歩、自転車	4
	車、バス	2
	電車	0
スタッフ数	ユニット数× 1.5 以上	4
	ユニット数× 1.5 未満	2
	ユニット数× 1 以下	0
院長自宅	別々で徒歩圏内	4
	別々で徒歩圏外	2
	診療所兼用	0
院内備蓄	人数分を３日分以上	4
	一部不足あり	2
	全く備蓄なし	0
		total

各項目で該当するものに○をつけ，合計点で評価しましょう．

・患者層と災害時要配慮者の割合

・帰宅困難になる患者のリスク程度

・患者の避難誘導のスムーズさ

・院長自身の通勤・自宅・家族の安全度

・帰宅困難者やスタッフスへの対策

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

2.情報的リスク

リスクを把握しよう！あなたの歯科医院は何点？ 何タイプ？

カルテ・レセプトのデータ	外部にバックアップ	4
	院内バックアップ	2
	バックアップなし	0
X線のデータ	外部にバックアップ	4
	院内バックアップ	2
	バックアップなし	0
通信手段	モバイルでのネット環境あり	4
	ネット環境はあるが，固定回線のみ	2
	電話・ファックスが中心	0
緊急地震速報など	診療中にも受信可能	4
	診療中には受信できない	2
	まったく未対応	0
ラジオ	電池とともに十分整備	4
	あるが電池が不十分	2
	なし	0
		total

各項目で該当するものに○をつけ，合計点で評価しましょう．

・カルテ・レセプトデータの保護

・個人特定データの保護

・CSCAの確保

・直接死を防ぐ

・情報を制する

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

3.モノ的リスク

リスクを把握しよう！
あなたの歯科医院は何点？
何タイプ？

建物の種別	鉄筋戸建て	4
	テナント	2
	木造戸建て	0
避難のしやすさ	1階	4
	2～4階	2
	5階以上	0
建物の築年数	10年以下	4
	15年未満	2
	15年以上	0
病院の立地	以下に該当しない	4
	河川，崖，山あり	2
	埋立地，活断層	0
ユニットなどの固定	全部固定している	4
	一部固定している	2
	固定していない	0
		total

各項目で該当するものに○をつけ，合計点で評価しましょう。

- 災害下での医療提供体制
- 直接死・孤立を防ぐ
- 診療継続・再開の可能性
- 直接被害を防ぐ
- 診療継続・再開の可能性

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

4.カネ的リスク

リスクを把握しよう！
あなたの歯科医院は何点？
何タイプ？

火災保険・地震保険	両方加入	4
	地震保険なし	2
	両方未加入	0
共済保険・生命保険	十分な額を加入している	4
	加入しているが少額	2
	未加入	0
非常時持ち出し貴重品	いつでも持ち出せる	4
	把握しているのみ	2
	全く把握していない	0
業者・関係者一覧表	作製済	4
	作製中	2
	全く把握していない	0
預貯金（2か月分）	十分な額がある	4
	あるが少額	2
	ない	0
		total

各項目で該当するものに○をつけ，合計点で評価しましょう。

- モノに関する保険金収入
- ヒトに関する保険金収入
- 関連死防止・金銭情報の確保
- 診療継続・再開への準備
- 当面の運転資金・再開資金

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

5.その他のリスク

リスクを把握しよう！
あなたの歯科医院は何点？
何タイプ？

訪問診療	なし	4
	時間を決めている	2
	別働隊がある	0
災害時マニュアル	あり，訓練済み	4
	あり，訓練なし	2
	なし	0
避難訓練	毎年実施	4
	数年に１回	2
	実施したことがない	0
院内連絡網	携帯メール，SNS を活用	4
	携帯電話番号のみ	2
	固定電話のみ，または連絡網なし	0
コンセント類	不要時は外し，清掃	4
	時々外す程度	2
	つけっぱなし	0
		total

各項目で該当するものに○をつけ，合計点で評価しましょう．

・スタッフの安全確保・緊急連絡

・自分と患者の命を守る

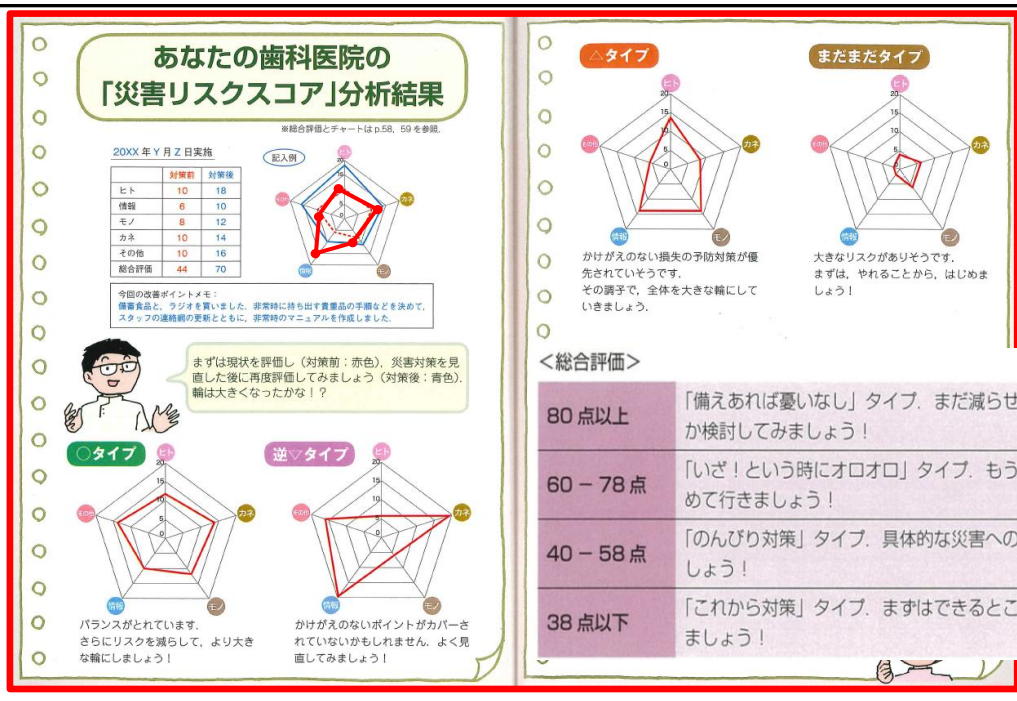
・命を守る意識と行動の継続

・情報共有・連携手段の確保

・火災などの二次被害の防止

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

演習１　事後配布



あなたの歯科医院の「災害リスクスコア」分析結果

※総合評価とチャートは p.58，59 を参照．

20XX 年 Y 月 Z 日実施

	対策前	対策後
ヒト	10	18
情報	6	10
モノ	8	12
カネ	10	14
その他	10	16
総合評価	44	70

記入例

今回の改善ポイントメモ：
備蓄食品と，ラジオを買いました．非常時に持ち出す貴重品の手順などを決めて，スタッフの連絡網の更新とともに，非常時のマニュアルを作成しました．

まずは現状を評価し（対策前：赤色），災害対策を見直した後に再度評価してみましょう（対策後：青色）．輪は大きくなったかな！？

○タイプ

バランスがとれています．さらにリスクを減らして，より大きな輪にしましょう！

逆▽タイプ

かけがえのないポイントがカバーされていないかもしれません．よく見直してみましょう！

△タイプ

かけがえのない損失の予防対策が優先されていそうです．その調子で，全体を大きな輪にしていきましょう．

まだまだタイプ

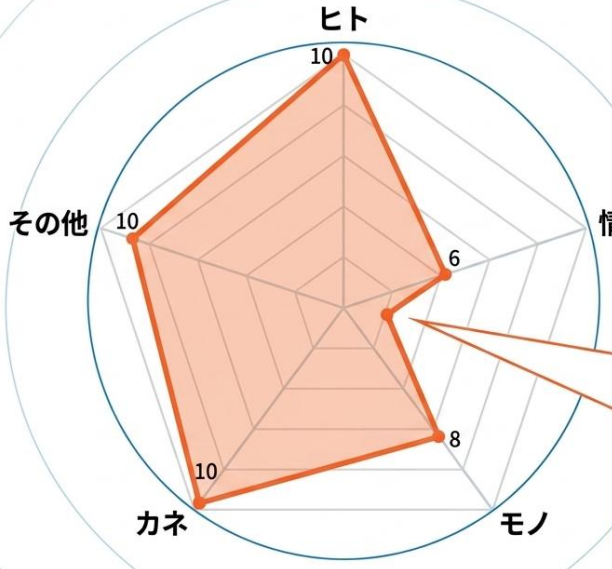
大きなリスクがありそうです．まずは，やれることから，はじめましょう！

＜総合評価＞

80 点以上	「備えあれば憂いなし」タイプ．まだ減らせるリスクがあるか検討してみましょう！
60 － 78 点	「いざ！という時にオロオロ」タイプ．もう一段，準備を進めて行きましょう！
40 － 58 点	「のんびり対策」タイプ．具体的な災害への準備をはじめましょう！
38 点以下	「これから対策」タイプ．まずはできるところからやってみましょう！

引用：中久木康一著：歯科医院の防災対策ガイドブック,医歯薬出版

診断結果の可視化：対策前（Before）の脆弱性



総合評価: 44/100点

▶【△タイプ】大きなリスクが偏っている状態。まずはやれることから始める必要があります。

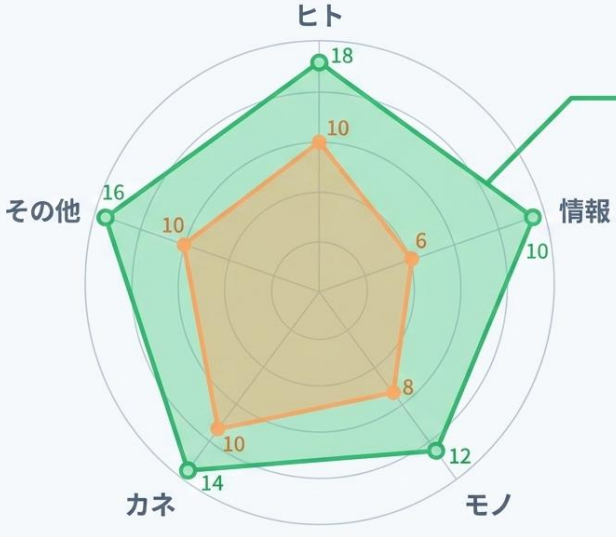
▼【逆▽タイプ】かけがえのないポイント（命に関わる部分）がカバーされていない危険な状態。

スコア参照表

80点以上: 備えあれば憂いなしタイプ
60-78点: いざ！という時にオロオロタイプ
40-58点: のんびり対策タイプ（※今回の例）
38点以下: これから対策タイプ

NotebookLM

「安全の輪」を大きく、バランス良く広げる



総合評価: 70/100点

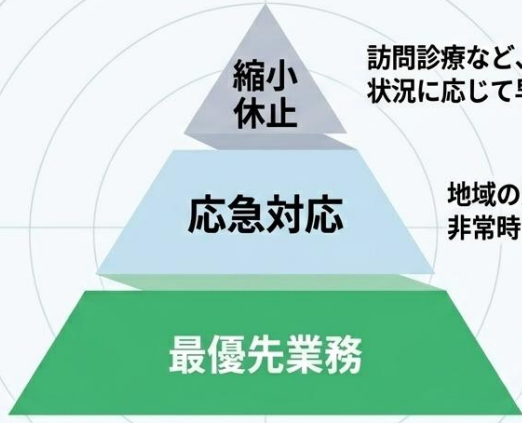
【○タイプ】バランスがとれた状態。全体をさらに大きな輪へと成長させましょう。

今回の改善ポイントメモ

- ✓ 備蓄食品と防災ラジオを購入した
- ✓ 診療後のコンセント抜去をルール化した
- ✓ LINEグループを活用したスタッフ連絡網を更新した

NotebookLM

災害時BCPの基本方針：何を守り、何を休止するか



訪問診療など、通常業務は原則休止。
状況に応じて早期再開を目指す。

地域の災害時要援護者への対応、
非常時の資機材確保。

患者・職員の生命と生活を
保護・維持する。

BCP（業務継続計画）の第一歩は、「すべてをやろうとしない」こと。
平時に優先順位を決めておくことで、パニックを防ぎます。

NotebookLM

平時の推進体制：絵に描いた餅にしない「4つの確認事項」

1. Actions（何をするのか）
・訓練計画、備蓄管理、マニュアル作成

2. Deliverable（誰がやるのか）
・担当スタッフ名

3. Responsibility（誰が責任をとるのか）
・最終確認者（院長や災害対策委員長）

4. Deadline（いつまでにやるのか）
・具体的な完了期日

記入例	職員への避難訓練の計画と実施	歯科衛生士 [担当者名]	院長 [責任者名]	[指定日付] までに実施

NotebookLM

継続こそが最大の防御：半年〜1年に1回の「再評価」を

一度作って終わりではなく、訓練を通じて「使えないマニュアル」を
改善していくサイクルが、本当の防災力になります。

NotebookLM

「備えあれば憂いなし」を目指して

災害対策は、決して院長一人で行うものではありません。
現場を最もよく知る歯科衛生士の皆さんの「気づき」と「行動」が、
いざという時、患者さんの命と医院の未来を確実に守ります。

**まずは明日、自院の「災害リスクスコア」を
つけるところから始めてみましょう。**

安全の輪を広げる。毎日の診療を、これからもずっと。

NotebookLM

歯科医院における災害時の行動フローチャート

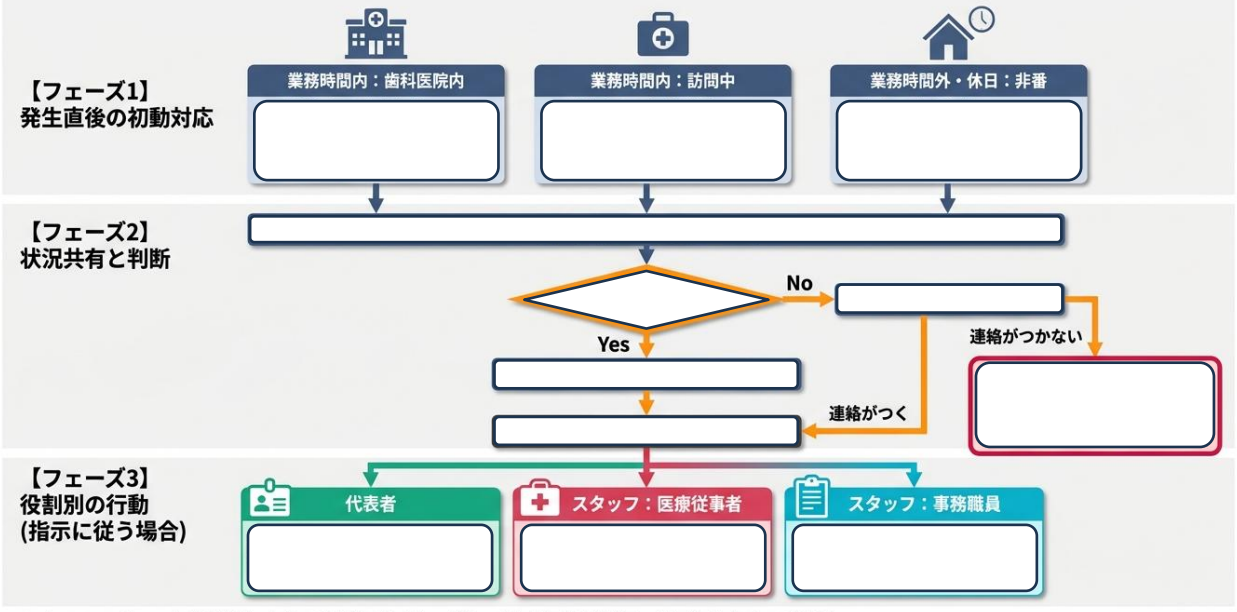
幹部向け実習・自院マニュアル策定ガイド

「信頼・安心・安全」を守るための標準化プロトコル

NotebookLM

演習２　配布①

災害発生時の行動フローチャート　～院内の行動指針～



※ 本フローチャートは状況に応じて柔軟に対応し、常に「人命と安全確保」を最優先としてください。

NotebookLM

演習２　配布②

災害発生時の行動フローチャート　～院内の行動指針～

【フェーズ1】
発生直後の初動対応

業務時間内：歯科医院内	業務時間内：訪問中	業務時間外・休日：非番

【フェーズ2】
状況共有と判断

患者さんの安全確保	互いの安全確認	避難持ち出し袋の確認
自身の安全確保	自身の家族の安全確保	お金（レジや通帳）の確保
設備の対応 （消火・ガス・電気の遮断、出口の確保）	代表者（または医院）へ連絡	業者や歯科医師会へ連絡

演習２　配布③

災害発生時の行動フローチャート　～院内の行動指針～

【フェーズ1】
発生直後の初動対応

業務時間内：歯科医院内	業務時間内：訪問中	業務時間外・休日：非番
・患者さんの安全確保 ・設備の対応（消火・ガス・電気の遮断、出口の確保） ・自身の安全確保	・患者さんの安全確保 ・自身の安全確保 ・互いの安全確認／設備の対応	・自身の安全確保 ・自身の家族の安全確認

【フェーズ2】
状況共有と判断

No

Yes

連絡がつかない

連絡がつく

代表者へ連絡がつくか？	業者や歯科医師会へ連絡	ほかのスタッフに連絡
お金（レジや通帳）の確保	避難持ち出し袋の確認	互いの状況を確認し、相談・共有する
【各自で判断】 自身の安全確保を最優先に 「待機・避難」、または 「必要時、安全な手段で出勤」	【SNSやAIの情報で判断】 デジタル情報を最優先に 「待機・避難」、または 「必要時、安全な手段で出勤」	【指示に従って行動】 【思いつくままに行動】

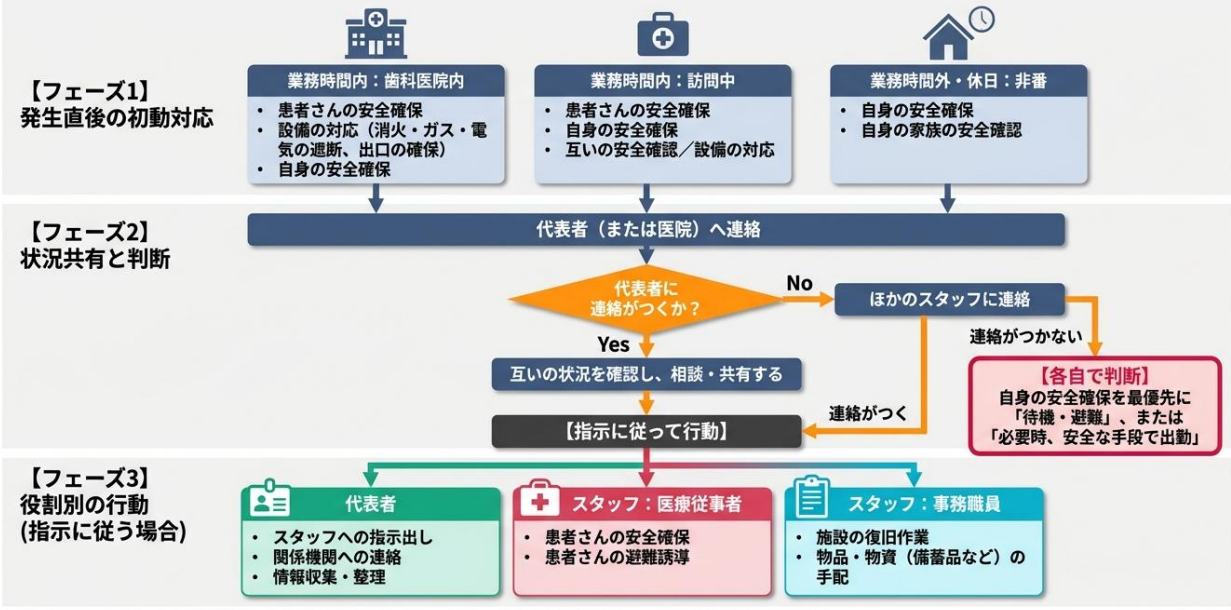
演習2　配布④

災害発生時の行動フローチャート　～院内の行動指針～

スタッフへの指示出し	患者さんの安全確保	物品・物資（備蓄品など）の手配
代表者へのダメ出し	情報収集・整理	関係機関への連絡
施設の復旧作業	患者さんの避難誘導	お金（レジや通帳）の確保

演習2　事後配布

災害発生時の行動フローチャート　～院内の行動指針～



※ 本フローチャートは状況に応じて柔軟に対応し、常に「人命と安全確保」を最優先としてください。

NotebookLM

なぜ、全スタッフ共通の「1枚のマニュアル」が必要なのか？

歯科医院特有のハイリスク環境（可動式ユニット、鋭利な器具、身動きが取れない患者、水・ガスの配管）では、一瞬の判断の遅れが致命傷になります。パートタイムを含む全スタッフが即座に記憶し、反射的に実行できる「統一された行動基準」が不可欠です。

NotebookLM

災害時の行動フローチャート（保存・掲示版）

Phase A: 発災直後の生存確保 (Immediate Survival)

Step 1: 患者さんとわが身の安全を図る
ユニット停止、落下物注意、安全な場所へ誘導・靴の着用

Step 2: 消火の確認・負傷者の確認
大声での声掛け、初期消火、負傷者の応急手当

Step 3: 被害状況の確認
非常口の確保、物的被害の把握、ラジオ等での情報収集

Phase B : 退出と避難の判断 (Evacuation & Securing)

Step 4: 避難準備
持ち出し品の準備、ヘルメットや代用品での頭部保護

Step 5: 安全な場所への誘導・避難
留まるか移動するかの判断、落下物・塀を避けた移動

Step 6: 退出前の最終確認
ガスの元栓・ブレーカー遮断、避難先と連絡先のメモ掲示

NotebookLM

フェーズA：発災直後の生存確保（Step 1〜3）

Step 1 詳細

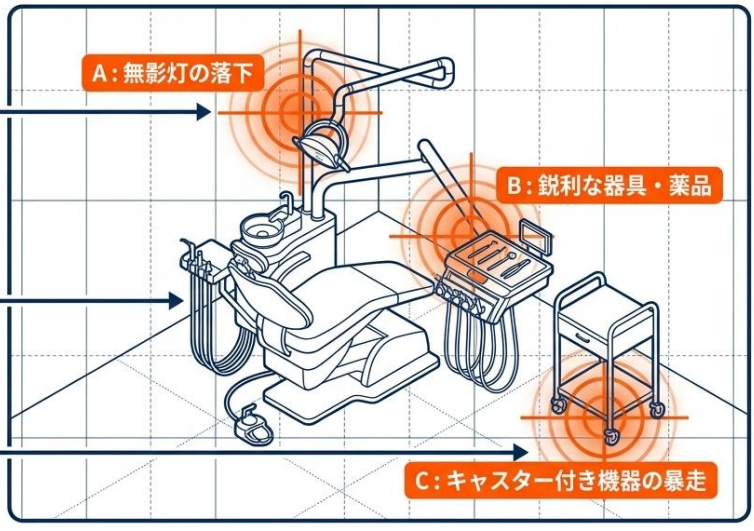
揺れが激しい時は患者さんを抱きかかえる。キャスター付き機器・ブラケットテーブル上の薬品落下に注意。可能ならユニットのメインスイッチを切る。
無影灯などのアームに注意して誘導。

Step 2 詳細

皆で声を掛け合い初期消火。
危険な火は揺れが収まってから始末する。

Step 3 詳細

あわてて外へ飛び出さない（落下物の危険）。
薬品等の漏れに一時対応。



NotebookLM

フェーズB：退出と避難の判断（Step 4〜6）

Step 4 詳細

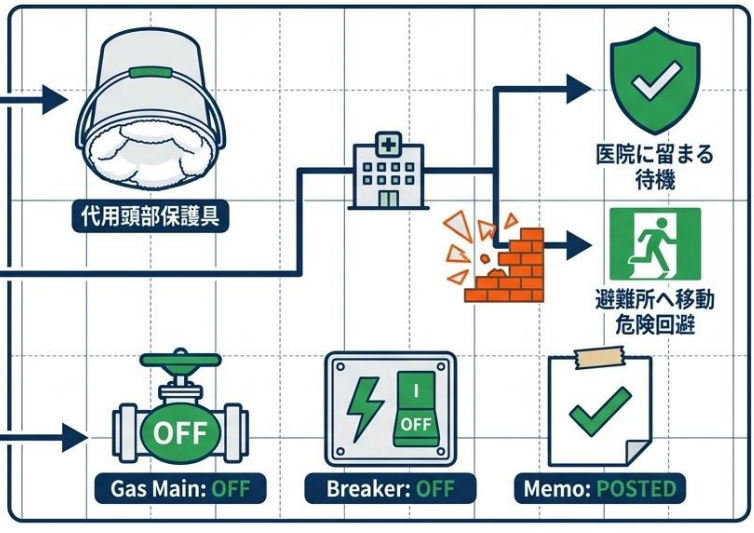
ヘルメットがない場合は、クッション、書類ケースの蓋、または「バケツの中に脱脂綿やガーゼを詰めて」代用し頭部を保護する。

Step 5 詳細

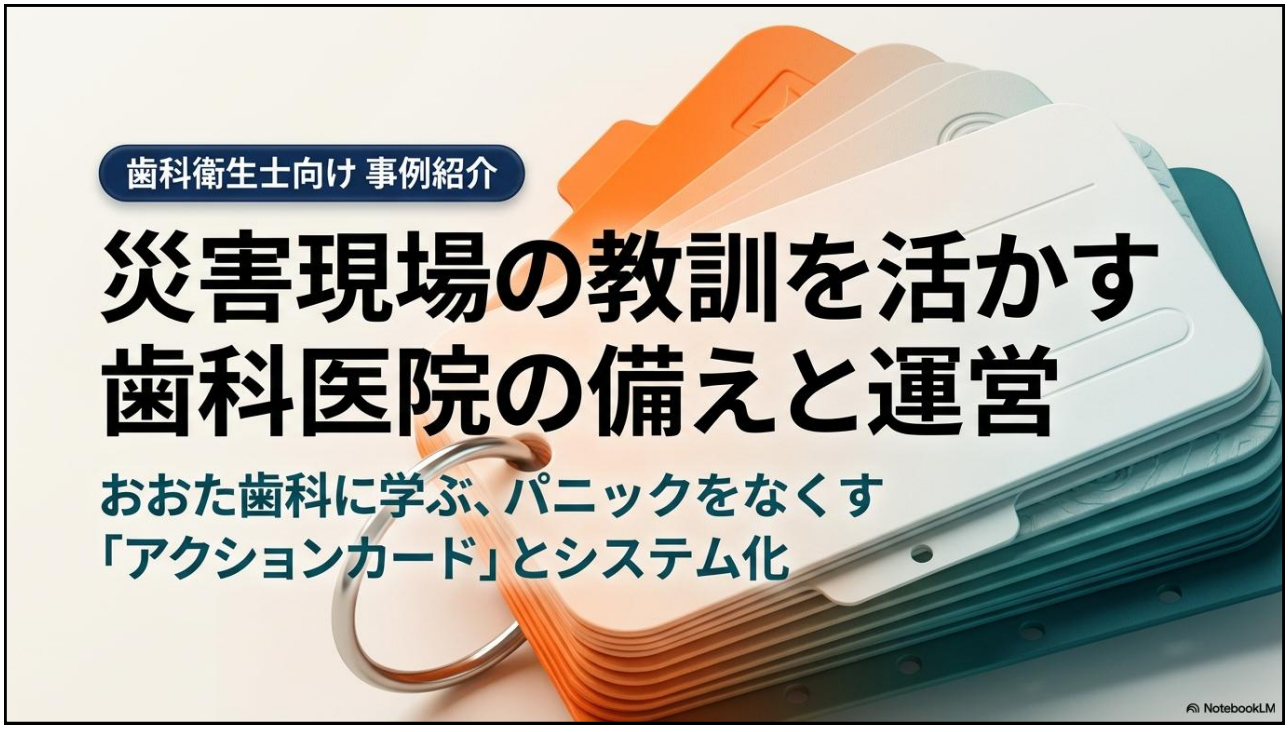
医院に留まるか、避難所等へ移動するかを判断。移動時は看板・ガラスの落下に注意し、狭い路地やブロック塀を避ける。

Step 6 詳細

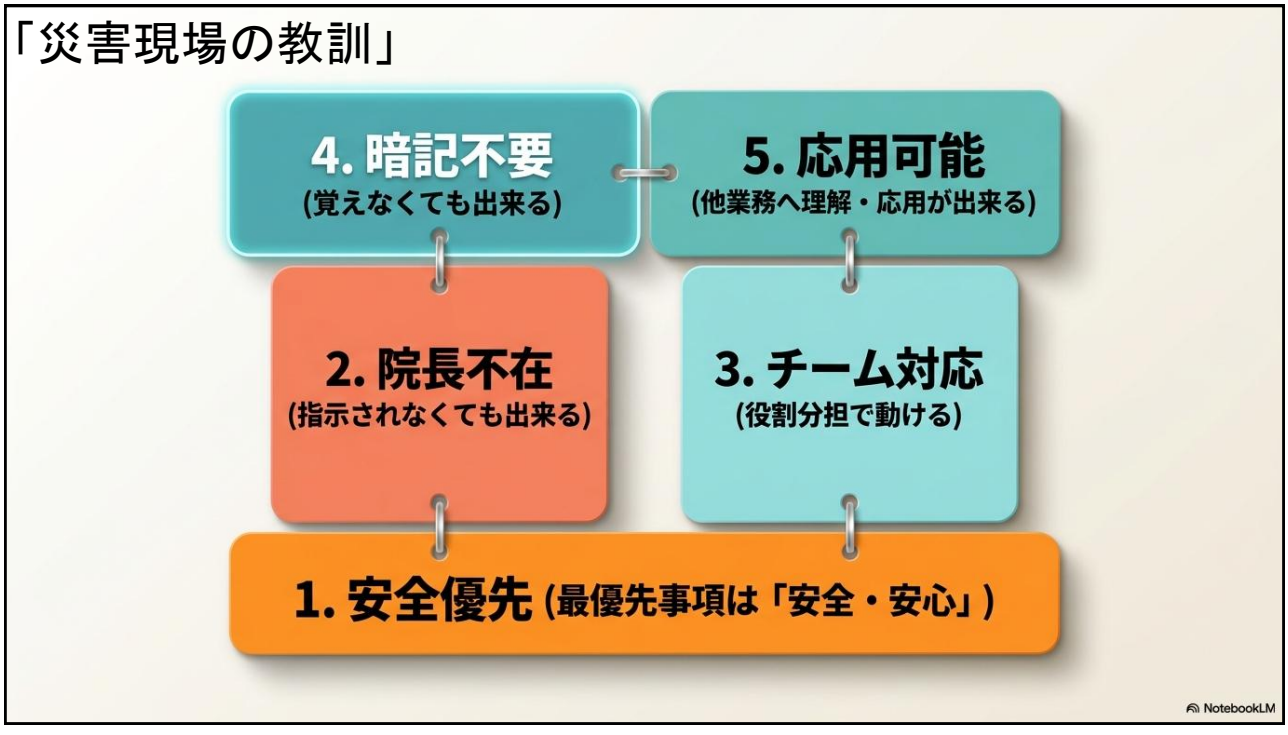
責任者は全員の避難を確認。ガスの元栓、電気のブレーカーを必ず切る。移動先の情報（名前、避難場所、連絡先）を入り口に提示する。

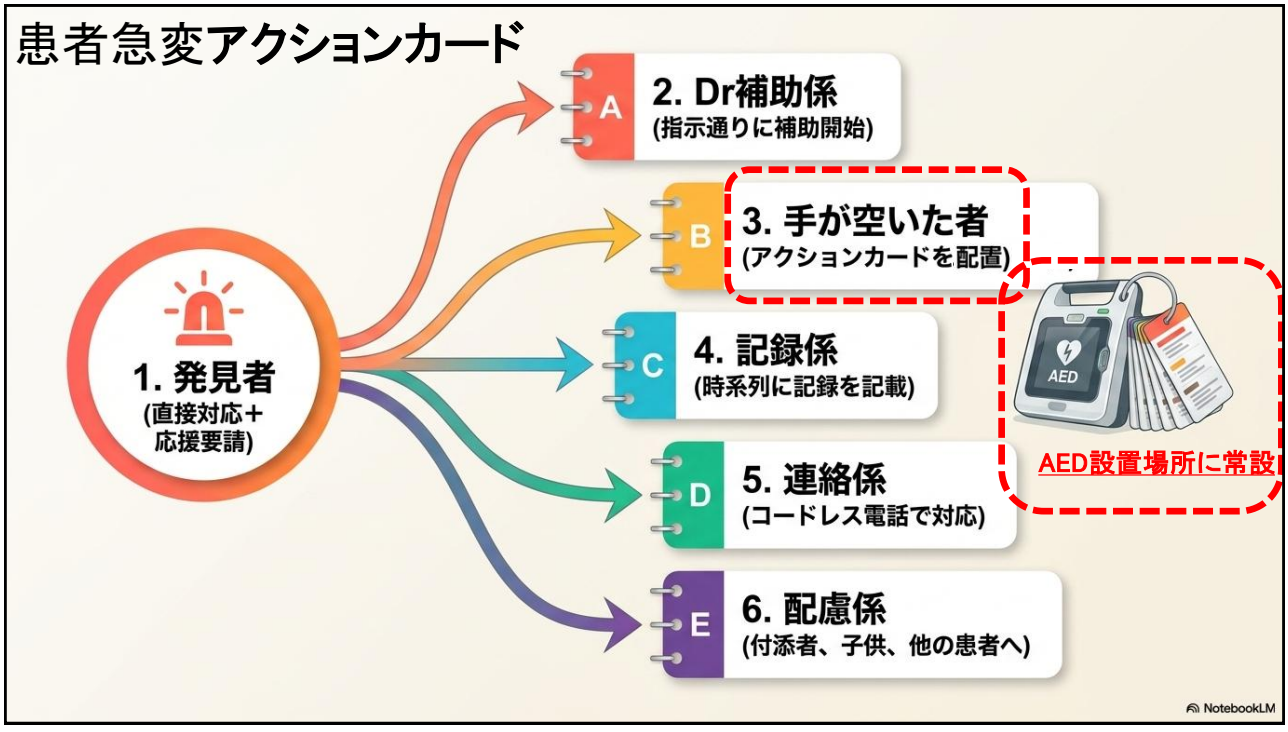


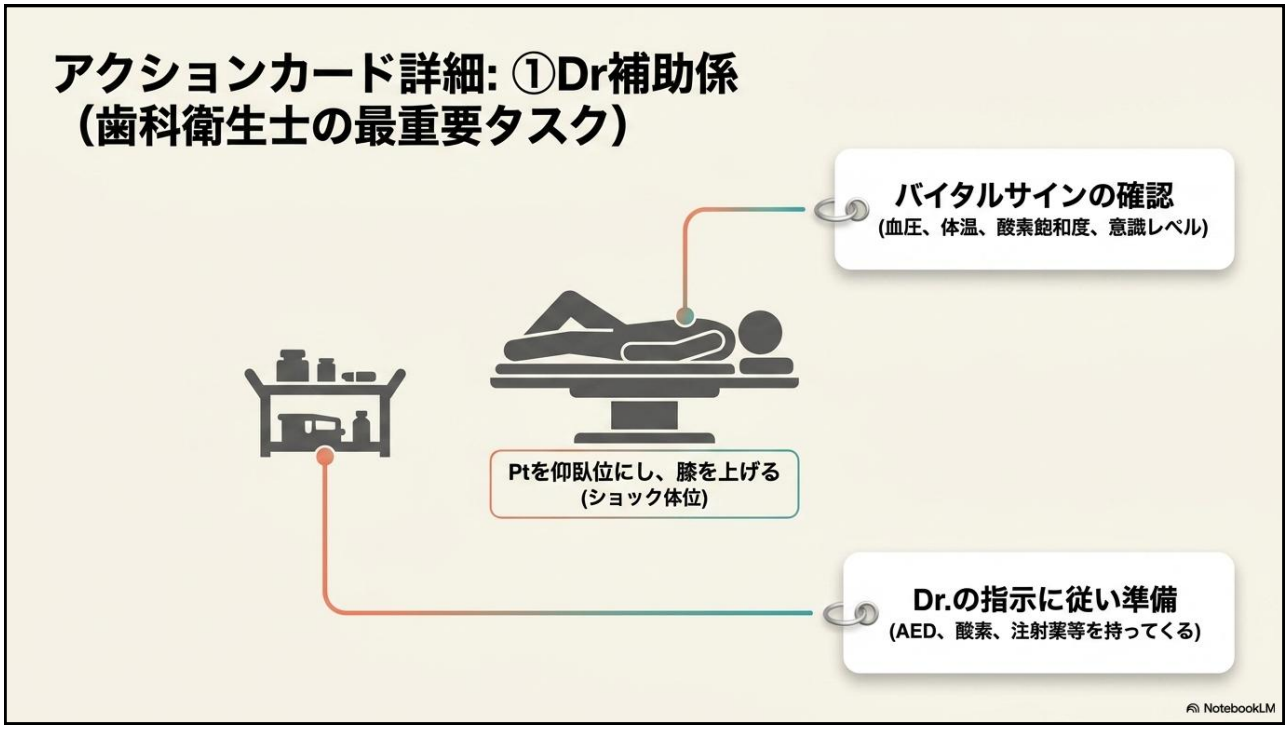
NotebookLM


歯科衛生士向け 事例紹介
災害現場の教訓を活かす
歯科医院の備えと運営
おおた歯科に学ぶ、パニックをなくす
「アクションカード」とシステム化
NotebookLM

「災害現場の教訓」


4. 暗記不要
(覚えなくても出来る)
5. 応用可能
(他業務へ理解・応用が出来る)
2. 院長不在
(指示されなくても出来る)
3. チーム対応
(役割分担で動ける)
1. 安全優先 (最優先事項は「安全・安心」)
NotebookLM


患者急変アクションカード
1. 発見者
(直接対応＋
応援要請)
A
2. Dr補助係
(指示通りに補助開始)
B
3. 手が空いた者
(アクションカードを配置)
C
4. 記録係
(時系列に記録を記載)
D
5. 連絡係
(コードレス電話で対応)
E
6. 配慮係
(付添者、子供、他の患者へ)
AED
AED設置場所に常設
NotebookLM


アクションカード詳細: ①Dr補助係
（歯科衛生士の最重要タスク）
バイタルサインの確認
(血圧、体温、酸素飽和度、意識レベル)
Ptを仰臥位にし、膝を上げる
(ショック体位)
Dr.の指示に従い準備
(AED、酸素、注射薬等を持ってくる)
NotebookLM

	②記録係	③救急車連絡係	④他のPtへの配慮係
【必須アイテム】	時計とメモ帳	患者登録画面 （個人情報の確認）	（なし・対人スキル）
【対象者】	現場の状況	119番 （指示があれば）	付き添いの方、子供、 他のユニットのPt
【主要アクション】	時系列に 記録を記載	状況伝達と 救急要請	事情説明 （待っていただく or 予約取り直し）

＊「手が空いた人」が、AC（＝アクションカード）を配置する

NotebookLM

演習3　配布①

①（Dr.）補助係

- 血圧、体温、酸素飽和度、意識レベルの確認
- Ptを仰臥位にし、膝を上げる（ショック体位）
- Dr.に従い、AED、酸素、注射器等を持ってくる

演習3　配布②

②記録係

- 時計とメモ帳を持ってくる
- 時系列に記録

＊AC（＝アクションカード）は、ひとまとめにして、AED設置場所などに常設しておくのがよい

演習3　配布③

③救急車連絡係

- 患者登録の画面を開き、患者情報の確認
- 指示があれば119番

演習3　配布④

④他のPtへの配慮係

- 付き添いの方、子供への配慮
- 他のユニットのPtへの事情説明（待っていただくor 予約取り直し）

＊AC（＝アクションカード）は、ひとまとめにして、AED設置場所などに常設しておくのがよい

演習3　配布⑤

⑤　1番ユニット　DA役

- これから、子供（8歳）の麻酔をして、虫歯の処置をします。
- 歯科助手として、アシストします。
- 子供に付き添って来ていた母親（40歳）は、近くのコンビニで買い物中です。

演習3　配布⑥

⑥　2番ユニット　DH役

- 10分前ぐらいから、自分が担当する患者さん：男性（70歳）SPTをしています。
- いつもはきれいなのに、今日は歯石が付着し、PCR 45%です。
- 患者さんを寝かせ、顔にタオルをして、超音波スケーラーで歯石を取っています。

演習3　配布⑦

⑦　3番ユニット　DH役

- 5分前から、自分が担当している子供（5歳）の患者さんの処置中です。
- 今日の予定は、歯面清掃とフッ化物塗布の後に、食生活指導です。
- 母親（30歳）が付き添いでユニットの横の椅子に座っています。

演習3　配布⑧

⑧　受付/待合　受付役

- 先ほど治療（CR充填、麻酔あり）が終わった患者さんの会計と、次回の予約取り（他のC処置、麻酔あり）をしています。
- 待合室には、他に治療を待っている予約の患者さんが 2名います。
- それぞれ、予約時間からは 15分遅れています。
- そのうち 1名は、今日はインレーセットの予定です。

演習3　配布⑨

⑨　1番ユニット　患者役

- あなたは、8歳の子供です。
- これから虫歯の治療で麻酔をするので、昨日からドキドキしていました。
- お母さんは近くのコンビニに買い物に行ってしまったので、さらにドキドキしてきました。

演習3　配布⑩

⑩　1番ユニット　母親役

- あなたは、8歳の子供の母親です。
- 子供は、今日は虫歯の治療で麻酔をするので、昨日からドキドキしていました。
- でも 8歳だし、ちょっと近くのコンビニに行って、買い物中です。

演習３　配布⑪

⑪　２番ユニット　患者役

- あなたは、70歳、男性です。
- 10分前ぐらいから、いつもの担当の衛生士さんに、歯石取りをしてもらっています。
- 最近は面倒くさくて、歯磨きをサボっていました。
- 「今日は、歯石も磨き残しも多い！」と叱られました。

演習３　配布⑫

⑫　３番ユニット　母親役

- あなたは、30歳、女性です。
- 今日は子供（5歳）の付き添いで来ました。
- 5分ぐらい前から、子供の診療台の横に椅子に座っています。
- 今日の予定は、クリーニングとフッ化物塗布とお話だと聞きました。

演習３　配布⑬

⑬　会計・予約中の患者役

- あなたは受付にいます。
- 今日の治療（虫歯を削って白い詰め物を詰めた）の会計中です。
- 次回の治療（他の虫歯の処置）の予約もしたいです。

演習３　配布⑭

⑭　セット待ち患者役

- あなたは待合室にいます。
- 今日の治療は「型を取った詰め物をくっつける」予定です。
- 予約時間からは15分遅れていて、ずっと待っています。
- 今日はこの後、子供の保育園のお迎えがあります。

廊下中央にあるもの

AC（アクションカード）

状況設定

土曜日午後3時（近隣の内科は休診）
今日は院長は不在。
勤務医の先生のみで、3台で診療中。

1番：Dr.＋DA①　子供（8歳）虫歯処置
＊母（40歳）はコンビニで買い物中
2番：DH②　男性（70歳）SPT中
3番：DH③　子供（5歳）CoF中
＊母（30歳）が付き添い
受付：受付④　会計・予約中
＊待合室にはセットの待ち患者2名

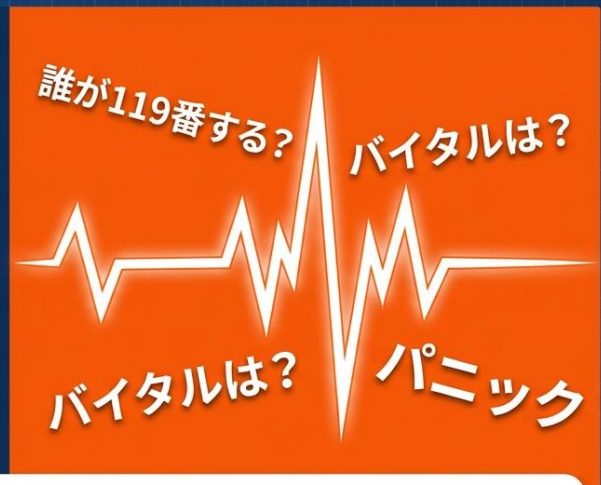
廊下中央には、AEDとAC、救急薬品と血圧計、酸素ボンベなどがある。

1番ユニットの子供に麻酔して5分後、ぐったりして動かず、**息をしていない**・・・口から何か出てきたぞ・・・

命を繋ぐ設計図：歯科医院のための救急搬送アクションカード

歯科衛生士が担う、緊急時のチーム連携と確実な初期対応
院内安全管理研修

NotebookLM



診療室での予期せぬ緊急事態。最大の敵は「パニック」と「躊躇」です

どんなに熟練したスタッフでも、突発的な救急事態では思考が停止するリスクがあります。
対応の遅れは、患者の命に直結します。迷わず、反射的に動くための「物理的な仕組み」が必要です。

NotebookLM

アクションカードは、スタッフ全員が迷わず動くための「担当者別の具体的な手順書」です

パウチ加工で常設

汚れを防ぎ、院内の誰でもすぐに見られる場所に掲示する。

役割別の明確化

緊急時に「自分が今、何をすべきか」を一目で確認できる。

思考の自動化

パニック時でも、カードを読むだけで的確な行動がとれる設計図。

NotebookLM

完璧なレスポンスを構築する、アクションカードの4つの構成要素

役割と責任

そのカードを持っている人が「誰」なのかを明記。（例：受付・歯科助手用、歯科衛生士用、歯科医師用）

初期対応

異常に気づいた時の最初のアクション。確実な声かけと、迅速な意識確認の手順。

連絡・誘導

院内スタッフへの応援要請から、119番通報、そして到着した救急隊の診療室への誘導ライン。

記録・引き継ぎ

バイタルサインの変化や実施した処置の記録。救急隊および搬送先病院への正確な情報伝達。

NotebookLM

【全体像】救急対応チーム・職種別アクションマトリックス

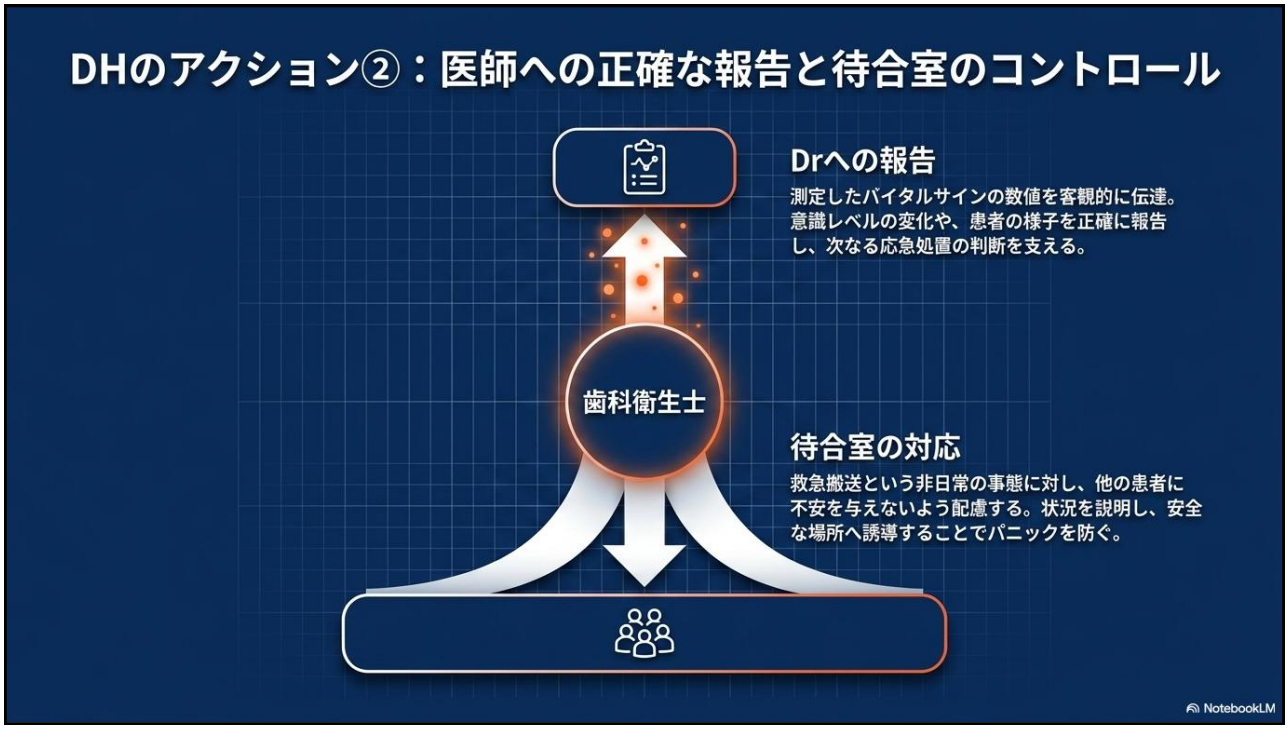
フェーズ	受付・歯科助手	歯科衛生士	歯科医師
第一発見・通報	意識確認・応援要請・119番通報・AED運搬 AED運搬		
臨床処置・補助		バイタルサインの測定・記録・気道確保・全身状態の観察	全身の観察・応急処置・酸素吸入・心臓マッサージ
統括・引き継ぎ	救急隊の診療室への誘導・施錠	医師への報告・待合室の患者への説明と誘導	救急隊への情報提供・家族への連絡

NotebookLM

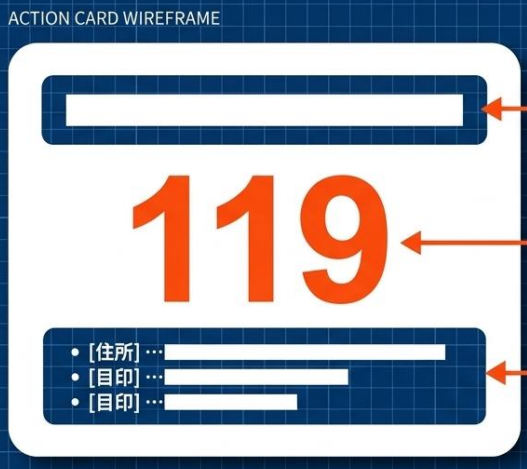
歯科衛生士のミッション：「正確な臨床評価」と「安心の提供」のハブとなる

NotebookLM

DHのアクション①：バイタル測定と気道確保（プロフェッショナルとしての臨床介入）
バイタルサインの測定
血圧
135/140
脈拍
170 min
酸素飽和度 (SpO2)
SpO2 %
560 %
測定結果を単に読み上げるだけでなく、時間経過とともに「記録」し、推移を追うことが重要。
気道確保と全身状態の観察
吸引
嘔吐物があれば直ちに吸引し、誤嚥を防ぐ。
環境調整
衣服の締め付けを緩め、呼吸を容易にする。
常に患者の顔色や呼吸のパターンを視覚的に観察し続ける。
NotebookLM


DHのアクション②：医師への正確な報告と待合室のコントロール
Drへの報告
測定したバイタルサインの数値を客観的に伝達。意識レベルの変化や、患者の様子を正確に報告し、次なる応急処置の判断を支える。
歯科衛生士
待合室の対応
救急搬送という非日常の事態に対し、他の患者に不安を与えないよう配慮する。状況を説明し、安全な場所へ誘導することでパニックを防ぐ。
NotebookLM

危機的状況下で「機能する」カードのデザイン・ルール



1. 見やすいレイアウト

文字は極力大きくする。長文は排除し、箇条書きで構成する。

2. 電話番号の明記

119番だけでなく、内線や近隣病院の番号を最も目立つように記載する。

3. 具体的な指示

119番通報時に伝えるべき「当院の住所」と「近くの目印」をそのまま読み上げられるよう印字する。

NotebookLM

アクションカードは「作って終わり」ではない。進化し続ける運用サイクル

掲示と周知

パウチ加工し、全スタッフが秒単位でアクセスできる定位置に設置。

状況の変化に対応

新しい医療機材の導入や、スタッフの増減に合わせて役割をアップデート。

定期的な見直し

避難訓練と同様に、カードを用いた院内シミュレーションを定期的に実施し、改善する。

NotebookLM

信頼できるフォーマットを活用し、自院向けにカスタマイズする

ゼロから作成するのではなく、公式フォーマットをベースに自院の環境に合わせて最適化するとスムーズです。

参考資料

災害歯科保健活動
歯科衛生士実践マニュアル
（日本歯科衛生士会）

歯科保健医療支援
アクションカード

LOCAL DATA
HOSPITAL INFO
CONTACTS

歯科保健　アクションカード

【自院住所】
住所番号を address

【近隣病院連絡先】
コンタクト

【避難経路目印】

「住所」や「目印」「連携する近隣病院の連絡先」など、ローカルな情報を確実に埋めることが最も重要です。

NotebookLM

アクションカードは、患者の命とスタッフを守る
「お守り」であり「武器」である

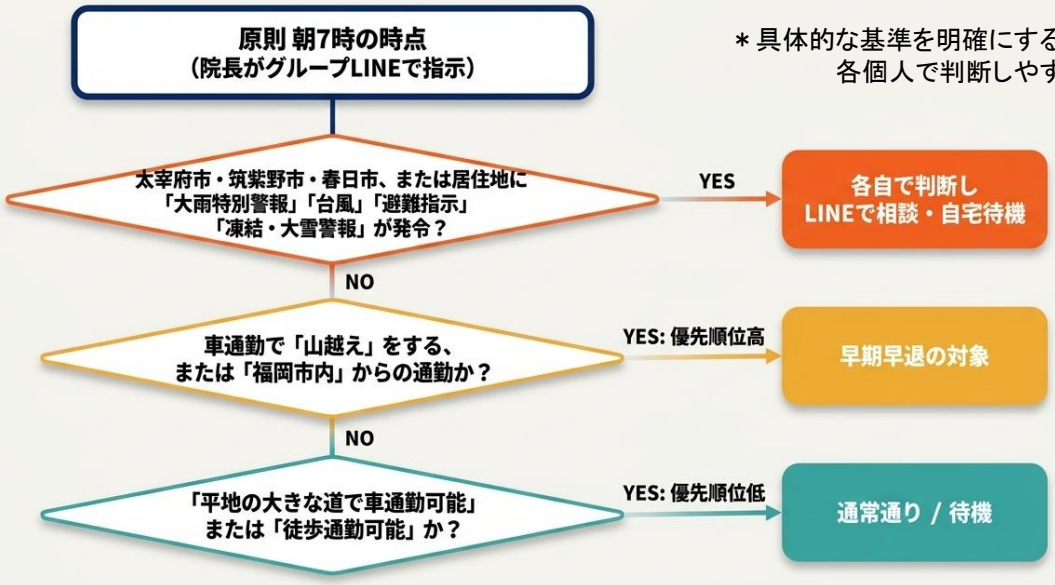
緊急事態における歯科衛生士の役割は、バイタルの把握から
院内の心理的ケアまで多岐にわたります。
アクションカードを整備することは、スタッフ全員に「自信」を与え、
パニックを「確実な対応」へと変換します。

明日、診療室の壁を確認してください。
あなたの医院には、命を繋ぐ設計図が準備されていますか？

NotebookLM

応用編①：悪天候時の「出勤・待機・退勤基準」

＊具体的な基準を明確にすることで
各個人で判断しやすくなる



NotebookLM

応用編②：日常業務のカード化（朝準備・昼作業・終業時）

NotebookLM

カード化がもたらす3つの「運営メリット」

NotebookLM

カードの具体解剖：なぜ「暗記不要」が成立するのか

NotebookLM

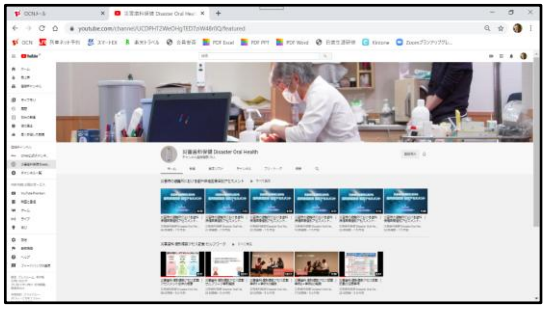
日常業務:「朝準備分担カード」(受付編)(表)

＊単語カードのように、表には、1作業ごとに**「項目」を記載**する

日常業務:「朝準備分担カード」(受付編)(裏)

＊裏には、1作業ごとに**「やる内容」を「読めばできるように」記載**する

動画研修・啓発資料など：
「災害歯科保健」Disaster Oral Health
https://www.youtube.com/channel/UCDPHT2WeOHgTED7ziW48r0Q/videos



動画：アセスメントの実例

動画：お口の体操